

College of Economics

RIKKYO University

Career Program

インターンシップ

レポート

2019

Mayu Umise  
Momoko Odaka  
Maya Kamimura  
Moe Kimura  
Taiki Kunii  
Yuka Kobori  
Nobuaki Komiya  
Ayane Mikasa  
Reina Mori  
Mizuki Yamada



# 目次

p. 2 …まえがき

p. 4 …年間スケジュール

p. 6 …授業紹介・受講理由

p. 7 …インターンシップ報告

p. 8 國井太樹・株式会社大塚商会

p. 12 森 玲奈・新日本ビルサービス株式会社

p. 16 小宮暢朗・株式会社企業評価総合研究所 ((株)日本 M&A センター)

p. 20 山田瑞葵・株式会社三栄コーポレーション

p. 24 海瀬麻由・公益財団法人キープ協会

p. 28 小堀優香・株式会社企業変革創造

p. 32 木村 萌・株式会社日本旅行

p. 36 上村眞弥・株式会社三栄コーポレーション

p. 40 三笠彩音・株式会社フジタ

p. 44 小高桃子・株式会社企業評価総合研究所 ((株)日本 M&A センター)

p. 49…外部講師による授業

p. 54…総括

p. 58…あとがき

## まえがき：経済学部を考えるインターンシップとキャリア教育

立教大学経済学部 遠山恭司

経済学部が「企画講座—会社をつくる」に組み込まれていた「インターンシップ」を、通年4単位（当初は2単位）の正課科目として設置したのは2003年度でした。本科目が開講された当時、正課として「インターンシップ」を開講する経済学部は全国的に見てもほとんど存在せず、その意味では本学経済学部の取り組みは先駆的な試みであったといえます。

さて、経団連の「就活ルール」廃止や通年採用の導入、人生100年時代や働き方改革など、就業と就職にまつわる変化はめまぐるしいほどです。現在、すでに多くの大学や企業で積極的に取り組まれているインターンシップですが、そうした取り組みの大半は、その直線的な延長線上に「就職」が設定されています。また、参加する学生の意図も、「就活」でのより直截的なメリットを意識する傾向にあります。しかし、本学経済学部の「インターンシップ」は、開講当初よりそうした直截的な「就職」支援を目的にしていなかったところに、大きな特徴があります。むしろ、インターンシップを通じて、これまで大学で学んだ知識や修得した能力を就業体験の企業活動の現場で自ら検証し、自分自身を客観的に再認識すること。そのうえで足りない知識や能力は何か、社会性や人間としての常識は備わっているか、そうした反省の上で、大学で目的意識を明確に有した学習や生活をおくるための契機を与えること。これらが科目開講に当たって、経済学部が掲げた目標であり、この点は17年を経た現在でも変わらぬ目標です。

その場しのぎの「就活」スキルを与えることではなく、そうした自己省察の契機を学生に与えることこそが、長い人生を主体的に生き得る力を学生に付けさせる方法であり、より本質的な「就職」支援とわれわれは考えています。より良い社会を創り出すために、主体的なキャリア意識の形成を学生に促し、社会常識を備えた感性豊かな人材を社会に送り出すこと、これは大学に課せられた責務です。この責務を果たすために、経済学部が取り組む教育プログラムの一つが、この「正課インターンシップ」科目と位置づけられています。

2019年度は10名の受講生を迎え、多彩な内外の講師を招いて、多岐にわたる実践知の修得と自分自身の思考の整理、アウトプットの充実化を図りました。アルバイト経験はあっても、実際の仕事・業務の経験とそこでの心構え、働く実際のスキルを知ることは、学生にとって容易ではありません。そこで、大石哲之著『コンサル一年目が学ぶこと』（ディスカバー・トゥエンティワン刊）を輪読して、やや高めのリアルな仕事とその進め方、心構えなどをディスカッションしました。その上、ビジネスマナーや目標設定ワークを経て、夏季休業中に2週間の実務研修に臨みました。災害の多かった去年は、一部の学生が台風の影響で研修に参加できない日も生じましたが、大過なく実習を終えることができました。秋学期は十分な時間を使った実習報告と質疑、振り返りを経て、学生はそれぞれの学びの定着と学業・就職活動への気持ちの切り替え、具体的なアクションの段階に進めたと実感しています。

なお、経済学部ではキャリア教育のより一層の充実を目的に、「課題解決演習」や正課外

ワークショップなどを展開しています。詳しくは経済学部 HP(<http://www.rikkyo.ac.jp/eco/>)  
あるいはキャリア教育サイト「STORY」(<http://www.rikkyo.ac.jp/eco/career/>)をご覧くださいければ幸いです。

## 謝辞

今年度も立教経済人クラブの全面的なご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。煩雑な業務となるにもかかわらず、ご支援いただいた産学連携担当および事務局の方々、ならびに快く学生を受け入れてくださった企業の皆様には、あらためて厚く御礼申し上げます。

また、受け入れのご協力を賜りながら、学生とのマッチングが成立せず、今年度はそのご厚意に応えることのできなかつた企業の皆様には、この場を借りて、深くお詫び申し上げます。

今後とも、立教大学ならびに経済学部に変わらぬご支援とご協力をよろしく願いいたします。

### ■2019年度 受講生 10名

学科	2年		3年		合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
経済学科	0	1	1	1	1	2
会計ファイナンス学科	0	1	0	3	0	4
経済政策学科	1	1	0	1	1	2
合計	1	3	1	5	2	8

### ■2019年度 派遣先企業

派遣先	業種	仲介団体
(株)フジタ	建設	立教経済人クラブ
新日本ビルサービス(株)	商社	
公益財団法人キープ協会	サービス	
(株)大塚商会	総合システム	
(株)日本旅行	旅行	
(株)企業変革創造	人材開発	
(株)日本 M&A センター	ビジネスサービス	
(株)三栄コーポレーション	商社	経済学部

### ■事前・事後の指導・学習のお礼

インターンシップの事前・事後において、以下の方々のご指導を賜りました。

船川治郎氏（経営人事コンサルタント）、佐藤裕氏（パーソルホールディングス（株））、長井智美氏（（株）まちなか HubLab）、本学キャリアセンター、受講 OG・学部 OB のみなさま、記して感謝申し上げます。

# 年間スケジュール

社会人に聞く  
仕事の実際

ビジネスマナー  
講習

キャリアセンター職員  
による就活の実際

昨年度受講生に聞く  
インターンシップ  
体験

4

5

6

7

8

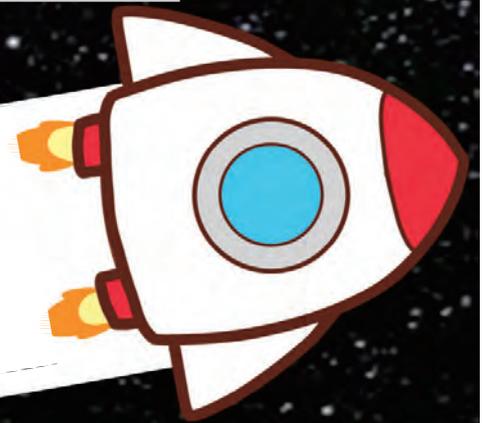
9

2週間  
インターンシップ

報告書作成

10 11 12 1

外部講師の講演





## 授業紹介

春学期はインターンシップに参加する前提として、インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行います。インターンシップは原則として夏季休業中(8月中旬～9月上旬)に2週間(10日間)の予定で実施されるため、受講希望者は夏季休業中の予定の調整が必要となります。

秋学期では、インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行い、それぞれが就業体験を通じて得たものを定着させていきます。また、授業の最後には体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成します。なお、インターンシップの派遣先は、立教経済人クラブ等の協力の下、本学が独自に確保する企業への派遣が中心となります。



## 受講理由～みんなの受講理由、聞いてみました～

- ・今回受講した理由としては、2年生の内からライバルに差を付けられると思ったからです。また自ら応募することなく、確実にインターンに参加できるチャンスをこの授業を受講するだけで得られるところに惹かれました。(勿論選考はありますが)
- ・もともとインターンシップ興味がありましたが、何から手をつけていいかわからなかった為、インターンシップ前後に授業を通して必要な力について学べ、振り返りを行う機会があり、企業による選考なしに自分で企業を選択できる点に魅力を感じた為です。
- ・10日間のインターンを通して、働くこと・将来の自分を真剣に考えるきっかけにしたいと思ったからです。また、一人一人の主体性が重要とされる授業を通して、消極的な自分を変えたいと思い受講しました。
- ・就活を意識し始め、自分の将来が全く見えていないことに焦りを感じていました。そこで2週間企業で学ばせていただくことで、働くイメージや自分に足りない力を明確にしたいと思い受講しました。
- ・3年生になり、何か始めなければ置いていかれてしまうというような焦燥感に駆られました。しかし、アルバイトが忙しくインターンシップは数をこなせないと感じていました。そんな中でも必ず1つは長期インターンシップに参加したいと思い、この講座を受講しました。
- ・就活、インターンシップについて全く知識が無く漠然とした不安がありましたが、2年生の間に将来について考えた上で3年生からは計画的に動けるようになりたかったので、インターンシップに参加でき、単位取得できる良い授業だと感じて志望しました。

# インターンシップ報告

個人のページ

# 10 日間で得たもの

國井 太樹



## 自己紹介

國井太樹 TAIKI KUNII

経済学部経済学科 3年

藤原ゼミナール

スペインギタークラブ

## 企業紹介

株式会社大塚商会



郵便番号	〒102-0072
住所	東京都千代田区飯田橋 2-18-4
業界	IT（ソフトウェア・情報処理）
企業理念	大塚商会は多くの企業に、情報・通信技術の革新によってもたらされる新しい事業機会や経営改善の手段を具体的な形で提供し、企業活動全般にわたってサポートします。そして、各企業の成長を支援し、わが国のさらなる発展と心豊かな社会の創造に貢献しつづけます。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● システムインテグレーション事業／コンピューター、複合機、通信機器、ソフトウェアの販売および受託ソフトの開発など</li><li>● サービス&amp;サポート事業／サプライ供給、保守、教育支援など</li></ul>
会社規模	資本金：10,374,851,000 円 従業員数：従業員数 7,145 名 (連結子会社を含めた従業員数 8,732 名) *2018 年末日

## 日程

8/19	8/20	8/21	8/22	8/23
IT 業界講義 営業職説明会 の見学	採用課の講義 パワポ研修	課題① 3次面接受付 業務	営業体感 インターンシ ップ	課題①
8/26	8/27	8/28	8/29	8/30
課題① →発表・FB	課題②	課題② SE インター ンシップ見学	課題② →事前発表・ FB	課題② →発表・FB

課題①：合同説明会向けスライド作成

…初日に見学した営業職向けの個別説明会を参考に合同説明会向けのプレゼンテーションを作成

課題②：合同説明会向けサブパンフレット作成

…課題①で作った資料を基に合同説明会で配る小型のパンフレットのサンプルを作成

## 目標

- 自分にとっての“働く”へのイメージを固める…80%
- 社会人にとっての“働く”を知る…20%
- 資料制作などの作業がある場合、できるだけ要求されている項目、質などを確認しておく…80%
- ↑を確認した上で、できる限りクオリティを高める努力をする…40%
- 帰宅後に1日の振り返りと翌日やることの確認、目標設定をする…60%

課題が実際に人事部で行っていることになぞらえた内容だったため、自ら人事で働くことへのイメージはある程度できたものの、社員の方からのヒアリングがほとんどできず、社会人にとっての“働く”ことへの考えは分かりませんでした。

## 変化

この講義を受ける前と後での1番の変化は、どんなことでも一段階考える、できれば自分の意見を捻出するようになったことだと思います。

春学期中の外部講師の方の話やビジネスマナー講習を経て、実際にインターンシップで課題を進めていく中で、成果物には自分らしさが入ったものを求められました。そしてその自分らしい考えを言語化するために、自分の思考回路を深掘りしていく必要がありました。今までは他人に合わせて自分の行動を変え、他人のいいように動いていた自分にとっては初めてのことであり苦しいものでした。しかし、考えた末に出たものに対して自分がそれまでにないほど納得していることに気づき、自分の中身をアウトプットする大切さを知りました。

## 総評

この1年の講義は新体験と自分の世間知らずを実感するものでした。

この講義を受ける前、私は、自分の今と将来に関してわからない事尽くし、就活に関しても「自己分析？企業研究？」と無知な状態でした。そんな状態で講義を受け、インターンシップに赴き、ITに関して講義してもらい、人事部の方と話しながら課題を進めていくうちに、自分が今までいかに漫然と日々を過ごしていたかを痛感しました。世間が目まぐるしく変わっていく中で、自分はほとんどそのことを知らず、自分のことすら満足に理解していなかったからです。それを知れたことがとてもいい経験であり、得られた大きな成果でした。

## 企業からのフィードバック

IT業界や当社の知識を深め、実際に採用イベントに参加してもらった上で、新卒採用担当の広報業務を体験してもらいました。採用ターゲットに対して、当社のことを魅力的に伝えるための手法や表現を真摯に考え、過去の体験を交えて國井君にしか作れないものを作ってくれました。

## 謝辞

お忙しい中、10日もの間、私をインターンシップに受け入れてくださりありがとうございました。他の夏季インターンシップや説明会などを行っている時期に、人事採用課の方には目をかけていただき、なかなかの負担だったと感じております。課題ではひたすら考える作業が続き、頭がパンクしそうになりましたが、言語化と表現の難しさ、そのための思考の重要性が身に染みて理解できました。10日間で得た経験を、就職活動のみならず、その先の仕事に活かして頑張ろうと思います。

改めて、10日間、大変お世話になりました。

# 挑戦と気づきの10日間

森 玲奈



## 自己紹介

森 玲奈 REINA MORI

経済学部会計ファイナンス学科 3年

菅沼ゼミナール

R. S. C. C.

## 企業紹介

### 新日本ビルサービス株式会社

郵便番号	〒337-0051
住所	埼玉県さいたま市見沼区東大宮 4 丁目 12-7
業界	ビル管理・メンテナンス、不動産（管理）、サービス
企業理念	“感謝のこころ 報恩のこころ”
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・総合ビルメンテナンス</li><li>・プロパティマネジメント</li><li>・ファシリティマネジメント</li><li>・特殊メンテナンス</li></ul>
会社規模	資本金：8,400万円 従業員数：さわやか社員 1,458名/常駐社員 144名/本社員 91名

## 日程

8/26	8/27	8/28	8/29	8/30
本社 挨拶・座学 ワカバウオーク 挨拶	ワカバウオーク 支配人業務	ワカバウオーク 施設内巡回 →報告 清掃業務	ワカバウオーク 施設内巡回 →実践	ワカバウオーク 警備員業務 総括
9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
ユニクス鴻巣 支配人業務 アンケート結果 の資料作成	ユニクス川越 打合せ同席 警備業務	ユニクス鴻巣 アンケート結果 の資料作成	ユニクス鴻巣 アンケート結果 の資料作成	ユニクス川越 イベント設営 本社 総括

※埼玉県内の3つの商業施設（ワカバウオーク/ユニクス鴻巣/ユニクス川越）を訪問

※施設内巡回→お客様の視点で掲示物や設備における気づき

## 目標

- ・社員の方と業務以外のコミュニケーションを積極的にとる

→80%

：3つの商業施設でお世話になったため、10日間通じて年齢や職業・経歴の異なる様々な社会人の方とお話することができ、仕事に対するイメージをより明確にすることができました。

- ・当たり前のことを意識づけて行動する

→90%

：毎日自分から挨拶をしたり考えてから質問をしたりなど、できて当たり前のことができていなかったことに実習前の講義を通じて気づかされたため、それを意識づけました。

- ・仕事に必要な力を質問する

→50%

：直接お話しは伺っていませんが、対人業務も多い仕事だからこそ積極的な挨拶やコミュニケーションで関係性を築くことは非常に大切だと、働く姿を通して学びました。

## 変化

最も変化したのは働くことに対するイメージです。以前は仕事にも就活にもマイナスなイメージを抱いていて、漠然とした不安だけが焦りにつながっていました。しかし、新日本ビルサービスでお世話になった皆さんが、目標をもってやりたいことを実現させながら働く姿を通じて、就活に対する意識が以前よりも前向きに変化しました。また、様々な社会人の方とお話したことで、改めてチャレンジ精神の大切さを実感しました。長年お仕事に従事されている方でも挑戦しながら働いていることを知り、実習後新たなことに一歩踏み出すきっかけになりました。

## 総評

長期にわたり社会人の方と関わることで、仕事には表向きのイメージだけでなく裏の面があることを知りました。また、これができたら…いつかこれをやってみたい…とイメージを膨らませながら支配人業務をされている姿は非常に印象的で、自分の抱いた社会人のイメージとは大きく異なっていました。どうせできないと諦めるのではなく、将来のなりたい姿を想像し就活にも取り組んでいこうと思えるようになりました。

## フィードバック

今回は弊社のプロパティマネジメントに興味を持っていただき、弊社が管理しておりますウニクス鴻巣、ウニクス川越、ワカバウォークにて実習をしていただきました。実際に業務を行っていただいた中で、こちらからお願いしたこと以上の業務を行っていただいた点はとても素晴らしく、各施設支配人からも評価のコメントが多く聞かれました。

この実習を通して森さんの将来に少しでも弊社がお役に立てることができたら幸いです。この度はありがとうございました。

## 謝辞

新日本ビルサービスの皆様、この度は2週間という長期にわたる実習を受け入れていただき本当にありがとうございました。実習のスケジュールを組んでくださった方、親身に施設を案内・説明してくださった方、その他関わったすべての方に心からお礼をお伝えしたいです。初めは緊張していた私に、すれ違った方からも“頑張っ”という声を掛けていただきとても励みになりました。ここで学んだことや気づきを就活だけでなく、学生生活や社会人になっても忘れず活かしていきます。

# 仕事への意識の変化

小宮 暢朗



## 自己紹介

小宮暢朗 NOBUAKI KOMIYA

経済学部経済政策学科 2年

テニスサークル

## 企業紹介

### 株式会社企業評価総合研究所（(株)日本M&Aセンター）

郵便番号	〒100-0005
住所	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号 鉄鋼ビルディング 24階
業界	M&A、コンサルティング
企業理念	株式会社企業評価総合研究所は、公正なM&A取引価格を算定・提示することで、中堅・中小企業M&Aマーケットの健全な成長に寄与します。
事業内容	中堅・中小企業M&Aにおける企業評価（株式価値算定 / 事業分析）  事例に基づく中小企業M&A取引事例法の確立と指標提言
会社規模	資本金：10,000,000円 従業員数：36名（2019年6月1日現在）

## 日程

9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
台風の為 実習なし	オリエンテーション 取締役のお話	決算書講義 データ起こし 業務	専務のお話 データ起こし 業務	データ起こし 業務 役員のお話
9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
祝日の為 実習なし	簡易評価書の 作成 概要書の作成 分類作業	概要書の修正 分類作業	専務のお話 株式価値算定 書の作成	リサーチ業務 プレゼンテー ション

## 目標

私は二つの目標を定めてこのインターンシップに臨みました。まず一つ目に、「実務を通して社会人としての自覚を持つ」ことです。実習先柄、多くの機密事項、情報を扱うことが多く一歩間違えれば会社にもお客様にも多大なる迷惑がかかってしまいます。その中で実際に就業体験を行うことで、学生では経験しえない社会人としての自覚と責任を感じることが出来ました。

二つ目に、「自分の考えの甘さやギャップを知る」ことです。私はバイトの経験やこれまでの人生経験からあくまでも学生の思うところですが、社会とはこういうものであると勝手に推測し、そうでないのはおかしいとまで思っていました。しかし、今回2週間社会人として過ごし、実務を通して社会人の責任の重さ等を経験してみて、どれだけ自分が社会・社会人を甘く見ている、あくまでも1つのチームである会社と自分の考えとの間にはどれ程の乖離があるのかが分かりました。

## 変化

今回、私が大きく変化したポイントは「仕事への意識」であると思います。

これまでの私は、仕事は「こんなもの」やその程度であると勝手に今までの人生経験の中から押し量っていました。しかし、実際には仕事とは押し量れるものでもなく、簡単に説明できる生半可な事柄ではないと実際に2週間、社会人として動くうちに感じました。また、「仕事とはお金を稼ぐもの」と考えており、結果的に給料の良さ、知名度が重要であると考えていました。しかし、社員の方々と多くお話をさせていただく中で、どれだけ自分の「仕事」に誇りを持ち、日々会社のために尽くしているのかが伝わってきました。確かにお金は必要ですが、仕事はそれだけの為に存在しているのではないと考えさせられました。これからは自分にとっての「仕事の意義」を見出せるよう努力したいと思います。

## 総評

今回2年生ながらもインターンに参加することで、周りに差をつけられる・なんとなく就活に有利かとも思っていました。しかし、ただインターンに参加するだけでは、全く意味がないことを実感しました。実際、昨今は学生の殆どがインターンに参加しています。そこで本当に必要になってくるのが目的意識や何をどう学んだかという中身が重要となってきます。私は、今回参加させて頂く中で、その意識が足りなかったと感じました。この反省を生かしてこれからの就職活動に反映させていきたいと思いました。

## フィードバック

授業が始まり2週間の会社員生活はもう懐かしくなってしまうのでしょうか。

短い期間ではありましたが、最初から会社に馴染んで頂きとても進めやすく、小宮さんの営業能力の高さを感じました。がんがん人の懐に入って稼いでくださいね。

今回感じたことは直接的には学生生活には活きないかもしれませんが、この2週間で経験したことを今後に生かしていただければと思います。

## 謝辞

今回は、お忙しい中インターンシップを受け入れ下さいまして誠にありがとうございました。この2週間は、私にとって貴重でとても意味ある体験でした。私事ですが、本来実習させて頂く期間に病気にかかってしまい、その旨をお伝えしたところ、快く期間の変更に応じてくださいました。参加すること自体出来なくてもおかしくない状況にあったのにも関わらず受け入れていただき、大変ありがたかったです。

# 感謝

山田 瑞葵



## 自己紹介

山田 瑞葵 MIZUKI YAMADA

経済学部会計ファイナンス学科 2年

菊池航ゼミナール

早稲田大学ジャズダンスサークル Oasis

## 企業紹介

### 株式会社三栄コーポレーション



#### 服飾雑貨事業部

郵便番号	〒111-8682
住所	東京都台東区寿4丁目1番2号 三栄寿ビル
業界	商社・メーカー
事業内容	OEM事業、ブランド事業
企業理念	「健康と環境」をテーマに、品質の優れた生活関連用品を企画開発し、消費者の皆さまにお届けすることを通じ、快適で夢のあるライフスタイルと社会生活の実現に貢献する
会社規模	資本金：10億91万4500円 従業員数：744名（関係会社従業員を含む）

## 日程

9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
(台風の為)	・オリエンテーション	・展示会	→	
9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
(祝日の為)	・展示会フォロー	・商談 ・サンプル購入	・マーケティングリサーチ	・仕様書作成 ・発表

展示会フォロー：1週目で行った展示会の反省会とこれからこのブランドをどうマーケティングしていくかの戦略を立てました。

マーケティング・リサーチ：今どういった商品が世に出されていて、人気はどうなっているのか雑貨屋をまわり見学、調査しました。

## 目標

### 1 得意・苦手の把握

今後の大学生生活で得意な事はのばし苦手な事を克服する出発点にする  
→達成度 80% 今回実際に働いてみたなかで、社会に出た時必要になる基礎能力や豊かな発想力で0を1にする能力が不足していることがわかりました。

### 2 社会人の話を聞く

仕事に対する価値観の違いを知り、自分なりの仕事をする意味を考える  
→達成度 100% 新入社員の方々から展示会でご一緒させて頂いた中堅社員の方々、部署を取り仕切っている方まで幅広い方々にお話をお伺いすることが出来ました。そして頂いた話を受け、自分なりに仕事をする意味を考え、将来が少し楽しみになりました。

## 変化

私はここで授業を履修する前後と2週間のインターンシップ前後の2点を述べていきます。まず、授業履修前後です。少しの興味と好奇心でとった授業でしたが、自分と向き合うことの大切さ、社会にはまだまだ知らないこと、知らないとすら気付いていないことが山のようにあるという事を改めて感じる機会となりました。

インターンシップ前後では、将来、自分が働く姿が全くといっていいほど想像できていなかったところから、どういった環境でこういう働き方がしたい、といったイメージを掴めるようになりました。これは社会人だけのなかに入れさせて頂くと共に、実際に社会人が働く現場に参加させて頂くことで得られた成果です。

## 総評

人に恵まれた1年間でした。授業では先生を始め、受講生、ゲスト講師の方から沢山の考え方や知識を頂き、インターンシップ先の三栄コーポレーションでは、足手まといであったであろう私に、どの方も大変温かく接してくださいました。この先どんな時代になっても、私を取り囲む方々には変わらず感謝し、大切にしていきたいと心から思います。

## フィードバック

### ◎強みと見えた行動

・対応力：定型業務とは異なる展示会において、臨機応変に行動、自分で考え、自分で決め、自分で動く力に通じるもの

### ◎今後、強められると良いと思われる行動

・課題発見：なぜ？を言動でアウトプットしていく力

## 謝辞

インターンシップで実際に貴社の業務を体験させて頂き、仕事の楽しさ難しさ、商社・メーカーの魅力を学ばせて頂きました。人事室の皆様には準備の段階から最後まで、常に気にかけて下さり、不安や心配事なくこの2週間を終えることが出来ました。服飾雑貨事業部の皆様には、まず私を受け入れて下さったことに感謝申し上げます。そして、実際の現場に沢山参加させて頂き、色々なお話もして下さり、皆様と2週間を過ごすことができ大変楽しかったですし、良い経験をさせて頂きました。有難う御座いました。

# 主体的になれたきっかけ

海瀬 麻由



## 自己紹介

海瀬麻由 MAYU UMISE

経済学部会計ファイナンス学科 3年

佐々木ゼミナール

## 企業紹介

### 公益財団法人キープ協会

郵便番号	〒407-0031
住所	山梨県北杜市高根町清里3545
業界	ホテル、環境教育
企業理念	食糧、健康、信仰、青年への希望、環境教育、国際交流・協力
事業内容	ホテル・ショップ等観光施設運営、環境教育、酪農業、保育園運営など
会社規模	基本財産:11億5,063円 従業員数:140名

## 日程

<b>8/30</b>	<b>8/31</b>	<b>9/1</b>	<b>9/2</b>	<b>9/3</b>
役員講義 レストラン業務	レストラン業務	フロント業務	ハウスキーピング	ハウスキーピング
<b>9/4</b>	<b>9/6</b>	<b>9/7</b>	<b>9/8</b>	<b>9/10</b>
レストラン業務 役員講義	プログラム体験 (自然散策)	プログラム体験 (酪農体験)	プログラム体験 (登山)	企画プレゼンテーション

実習地

8/30-9/4、9/10:清泉寮

9/6-9/8:自然学校

## 目標

- ・分からないことはすぐに質問する 90点
- ・様々な世代の人と関わる 60点  
→上の世代の人に偏ってしまっていた
- ・主体的に動く 80点  
→自分から仕事を探した、休みの日にも話を聞きに行った
- ・毎日の振り返りを怠らない 100点  
→良かった点、改善点、次の日のトライを毎日出した
- ・実際の事業と企業理念の結びつきを考える 80点

## 変化

私が10日間のインターンシップを通して変化した点が2つあります。1つめは、誰のため、何のために行動するのかを考えるようになったことです。実際に働く体験をしてみても、自分の行動が周りに影響を与えることがあることを実感し、自分のことだけでなく、周囲にも目を向けるようになりました。2つ目は、課題に対して筋道を立てて行動するようになったことです。以前はやらなければいけないことに対して、ただ目の前のことをひたすらにやっていたのですが、行動に移す前に課題解決に向けていつ・何をすればいいのか逆算して動くようになりました。

## 総評

10日間のインターンシップを通して、様々な学びや気づきがありました。その中でも一番大切であると思ったことは自分から行動する、ということです。自分から行動したことで、今まで気付かなかった新しい自分への気づきや、新たな人との出会いなど、予期せぬ良い出来事に巡り合うことができました。

今後何事にも受け身にならずに、自分から主体的に全力で動き続けたいです。

## フィードバック

海瀬さんは、新しい環境にもすんなりと順応し、目的意識を持って誠実に取り組まれていた姿が印象的です。課題発表では、弊会の特徴をよく捉え、日々の実習を通して得た考察を具体的な企画案として分かり易く発表していただき、こちらにも刺激を受けました。東京とは異なる生活環境で、接客から野外活動体験まで多岐にわたる実習内容をこなすのは大変だったかと思います。2週間お疲れ様でした。誠実さ、理解力、分析力といったご自身の強みを発揮され、今後ご活躍されますようにお祈り申し上げます。

## 謝辞

お忙しい中、私を受け入れていただき本当にありがとうございました。

私にとって、初めてのインターンシップでとても緊張していましたが、社員の方々が温かく迎えてくださったため、楽しみながら実習を行うことができました。様々な部署にお邪魔させていただきましたが、どこの部署でもお客様を第一に考えている姿勢がとても印象的で、私も見習いたいと強く感じました。また、2週間の中で様々な業務を体験させていただき、自分の向き不向きや、どういうことにやりがいを感じるかなど、自分のなりたい姿を見つけるヒントを得ることができました。

ここでの経験を糧に、将来のなりたい自分に向かって全力で進んでいきます。

# 自己成長の2週間

小堀 優香



## 自己紹介

小堀優香 YUKA KOBORI

経済学部経済政策学科 3年

## 企業紹介

### 株式会社企業変革創造

郵便番号	〒150-6018
住所	東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー18F
業界	ベンチャー、経営・人材コンサルティング
企業理念	我々の事業の目的と領域は「変革」です。 近未来を踏まえた環境変化を的確に捉え、人と組織を軸に、新しい戦略を策定し、継続的に実行することで、新しい価値を創造することが当社の使命です。
事業内容	組織のビジョン・戦略・あるべき人材像等、目指すべき方向性を明確にし、“成果の最大化”への、日々の改善のサポートを行う。
会社規模	従業員数：7名

## 日程

10/2	10/3	10/4	10/5	10/6
・プランニング	・プランニング ・プレゼン	・SNS 宣伝	・SNS 宣伝 ・アルバイト先 訪問	・SNS 宣伝
10/9	10/10	10/11	10/12	10/13
・SNS 宣伝	・SNS 宣伝 ・アルバイト先 訪問	・SNS 宣伝 ・アルバイト先 訪問	・SNS 宣伝 ・まとめと反省 ・アルバイト先 訪問	・SNS 宣伝 ・まとめと反省 ・プレゼン

- ・実習場所は本社のビルのオープンスペース。
- ・モバイルワークであり、連絡はメールやLINEでのやり取り。
- ・ある企画を任せられ、それに対する目標数値を設定し、数値目標を達成するために行動していくという内容。
- ・SNS 宣伝内容はLINE、Instagram、Twitter、Facebook、アマーバブログ。
- ・アルバイト先訪問は自分のアルバイト先に協力を依頼し、目標数値達成のために営業を行った。
- ・数値管理は週末を利用して行った。
- ・出勤時と退勤時に社長に報告を行った。

## 目標

- ・モバイルワークのメリットとデメリットを知る  
→80%
- ・新しいことに3つ挑戦する  
→100%
- ・1日の目標を必ず決める  
→75%
- ・疑心を抱いたこと、引がかかったことをメモする  
→80%

## 変化

社会人とはどういう存在なのかを深く知ることができました。数字が結果であり、先回りをしなければ置いていかれてしまうとはっきり体感しました。時間内に終わらせることが何よりも大事であり、そのために逆算すること、スケジュールを組み立てること、前日の経過から計画を修正することの大切さを学ぶことができました。

視野を広く持ち、相手の目線で考えることを意識して行動するようになりました。

## 総評

この2週間で、自分の中ではエクセルの技術とパワーポイントの技術が格段に上がったと感じています。また、スケジュールの立て方や修正の仕方も、この実習を通じて初めて挑戦したことであり、自分の保有能力が増えたと感じております。

数字を確保するときに、どのようにすれば、さらに獲得できるのか、何をすれば、みんなから注目される情報を拡散できるのか、いろんな角度から物事を考える思考を手に入れることができました。時間の使い方についても、周りに合わせるだけではなく、自分から行動する時間を考えて調整することができる様になりました。

## フィードバック

行動力が良かったです。周りの人からの信頼がとてもある方だと感じました。

## 謝辞

2週間、大変お世話になりました。

この2週間があったおかげで、タイピングの速さも幾分か早くなり、いろいろな面で活用することができています。また、目標を立てることの大切さも学ばせていただきました。その他にも報連相の基本や、社会人としての時間管理についても知ることができました。

2週間という短い期間でしたが、多くのことを学ぶ事ができました。本当にありがとうございました。

# 成長の 10 日間

木村 萌



## 自己紹介

木村 萌 MOE KIMURA

経済学部経済学科 2年

シーズンスポーツサークル

## 企業紹介

### 株式会社日本旅行

郵便番号 住所	〒103-8266 東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング 12階
業界	旅行業界
企業理念	あふれる感性とみなぎる情熱を持って、魅力ある旅の創造とあたたかいサービスに努め、お客様に愛され、未来を拓くアクティブカンパニーを目指し、豊かな生活と文化の向上に貢献します。
業務内容	カウンター業務、パンフレットなどの商品造成、 <u>団体業務（セールス、手配）</u>
会社規模	資本金 40 億円 従業員数 4982 名(グループ全体)

## 日程

<b>8/26</b>	<b>8/27</b>	<b>8/28</b>	<b>8/29</b>	<b>8/30</b>
予約手配 (海外-国内)	法人営業 (一般)	旅行計画立て 法人営業	JR 勉強会 法人営業 (製薬会社)	航空券などの 発送準備
<b>9/2</b>	<b>9/3</b>	<b>9/4</b>	<b>9/5</b>	<b>9/6</b>
発送準備	発送準備 社員の方とお 話	旅行計画立て 法人営業 (製薬会社)	法人営業 (製薬会社)	発送準備 総括

実習先→東京法人・コンベンション営業本部

## 目標

「これからの自分のキャリアについて考える」

以前、「仕事とは？」や「理想の社会人像とは？」といった質問を授業でのグループワークで話し合った際に、全くイメージが湧かず、答えを出せずにいました。だからこそ、実際に10日間働く中でこれらの質問を中心に、社会経験の乏しい学生とは異なる実際に働いている社会人に聞いたり、自分自身で業務を体験したりする中で、これからの自分のキャリアについて、現実味を持ったビジョンを描けるようになりたいと思い、設定しました。

その他にも、毎日日記をつけるなど具体的な行動についての目標をインターンシップの目標10か条として決めました。

## 変化

「毎日の生活を大切にできるようになった」ことです。当たり前のことであり、私も以前から思っただけでしたが、実際は目標もないまま、何を、どう頑張っているのかも分からず、モヤモヤしていました。しかし、10日間で社会人の方に学生時代にやっておけばよかったことを質問したり、実習の中で自分の知識不足を痛感したり、憧れを抱いた方との出会いなどを通じて、なりたい自分が確立されました。それに伴い、毎日早起きをして勉強するなど、目標達成に向けて些細なことではありますが、日々努力し続ける習慣づけることができるようになりました。

## 総評

実習前は、自分がどのような職業に就きたいか、どのような仕事観を持ちたいのかなど不明瞭な点ばかりでした。しかし、10日間社員の方々のサポートを受けながら、初めてのことにもしっかり挑戦したり、尊敬できる人を見つけたり、普段の大学の座学ではできないことを沢山経験させていただくことができました。自分自身も目標達成と共に成長できたという実感を得られましたし、今後の目標立てもでき、実行に移すことができます。だからこそ、この10日間の貴重さや社員の方々との出会いの貴重さを感じると共に、私自身10日間勇気を持って積極的に行動し、有意義に過ごすことができたので本当に良かったと思っています。

## フィードバック

100名を超えるスタッフが就業している当営業部において、幾つかの部署・業務に分業化されている中で業務を体験し、理解するのは非常に大変なことだったと思います。そんな状況の中、木村さんの明るさ・バランスの良さ・スマートさを感じた2週間でした。活躍間違い無しの木村さんと、是非一緒に働いてみたいと感じておりますが、きっとどんな企業に行っても成功されると思います。これからの活躍を楽しみにしております。

## 謝辞

お忙しい中、10日間のインターンシップを受け入れて下さり、ありがとうございました。様々な部署で実習する中で、沢山の社員の皆様に出会うことができました。皆様が私の拙い話や質問も聞いてくださり、アドバイスやそれに伴うお話をしてくれました。それらが私にとってとても刺激となり、自分の今後のキャリアについて考えるきっかけ、また今後の糧になっています。

皆様のおかげで濃く楽しい10日間にすることができました。本当にありがとうございました。

# 貴重な2週間

上村 眞弥



## 自己紹介

上村 眞弥 MAYA KAMIMURA

経済学部 経済政策学科 2年

須永ゼミナール

## 企業紹介

### 株式会社 三栄コーポレーション

郵便番号 住所	〒111-8682 東京都台東区寿4丁目1番2号三栄寿ビル
業界	商社、メーカー
企業理念	「健康と環境」をテーマに、品質の優れた生活関連用品を企画開発し、消費者の皆さまにお届けすることを通じ、快適で夢のあるライフスタイルと社会生活の実現に貢献する
事業内容	OEM事業、ブランド事業
会社規模	資本金10億91万4500円 従業員数744名

## 日程

9/9 (月)	9/10 (火)	9/11 (水)	9/12 (木)	9/13 (金)
台風の為	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・業務説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会視察</li> <li>・市場視察</li> <li>・競合製品比較表作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発導入前準備説明</li> <li>・アロマ DF 不具合品解析</li> <li>・企画書作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不具合品解析報告ファイル作成</li> <li>・商品撮影見学</li> <li>・基本承認説明</li> </ul>
9/16 (月)	9/17 (火)	9/18 (水)	9/19 (木)	9/20 (金)
祝日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発シミュレーション</li> <li>・製品品質検査</li> <li>・競合製品比較表、企画書 FB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発シミュレーションまとめ</li> <li>・調理実験</li> <li>・競合製品比較表、企画書 FB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス研修</li> <li>・アロマ DF 不具合品解析</li> <li>・調理実験レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務報告プレゼンテーション</li> <li>・オリエンテーション</li> </ul>

・説明を受けたり、レポート作成したり、デスクワークがメインでしたが、展示会視察では多くのメーカーが展示している製品を見て回ったり、製品の不具合解析や品質検査・実験では実際に製品に触ることも出来たので、一通りの業務を経験できました。

## 目標/達成度

- ・商品の開発から品質管理までの一連の流れを理解する。/100 点
- ・積極的に行動する。(挨拶、質問、話しかける等) /80 点
- ・日々振り返って翌日に活かす。/70 点

## 変化

私は、入社する1社目が本命、条件で就職先検索するものと考えていましたが、社員の方にお話を伺うと、「今は通過点に過ぎない」、「人柄でこの会社が良いと思った」ということを聞いて、理想の自分に必要なことを学べる、仕事内容よりも働きやすい環境を見ることも必要だと改めて感じ、仕事観が変わりました。また、社会の厳しさも感じました。

## 総評

2週間のインターンシップでは、気になったことはすぐに質問する、聞こえる大きさを挨拶・返事、毎日振り返ることはちゃんと出来ると分かりました。しかし、反省を目に見える形で表す、時間管理することは苦手であることも分かりました。他にも苦手なこと、意外と好きで出来るということ、興味があることにも気づくことができたので、目標100%達成は出来ませんでした。充実した日々を過ごせたと思います。

## フィードバック

### 強みと見えた行動

- ・主体性：当社への連絡窓口を務め、また就業経験中も自ら社員へ働きかける姿勢が認められた。
- ・目標設定および計画実行：インターンシップ開始時の目標宣言から業務経験を経て最終日のプレゼンまで取り組みに一貫性があった。
- ・プレゼン全体の起承転結の構成が明確であった。

### 今後、強められると良い点

- ・発想する力：物事を連続の観点で捉えず、連想の観点で捉える力。  
自らが「突拍子もないな」ではなく「面白いな」と思える視点。

## 謝辞

先日のインターンシップでは、業務内容からその業務をする意味まで詳しく教えてくださりありがとうございました。お昼休憩の時もお話させていただき、色々な考え方をすることも出来ました。「三栄はいい人ばかり」と皆さんがおっしゃっていたのがとても印象的でした。初顔合わせの時点で、すでに人柄の良さを感じていたため、本当に良い環境でインターンシップの経験をさせて頂けて嬉しく思っています。今回学んだことを私生活でも就活でも活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

# 仕事は対話の延長線

三笠 彩音



## 自己紹介

三笠彩音 AYANE MIKASA

経済学部経済学科 3年

菊池航ゼミ (1期生)

スカッシュサークル

## 企業紹介

### 株式会社 フジタ

郵便番号	〒151-8570
住所	東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
業界	ゼネコン業界
企業理念	自然を 社会を 街を そして人の心を 豊かにするために フジタは たゆまず働く
事業内容	建設工事の請負、企画、設計、管理及びコンサルティング 業務
会社規模	資本金：140億円 従業員数：3,223人

## 日程

8/26	8/27	8/28	8/29	8/30
オリエンテーション 1 DAY インター ンシップに参加	技術センター 人事部	業務推進センター (出納) 現場見学 (注1)	業務推進センター (厚生) 現場見学 (注2)	情報システム部 1 週間のまとめ
9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
オリエンテーション 人事部	国際支社	財務部	経理部 総務部	2 週間のまとめ

(注1) 築地のホテルの現場へ行きました。

(注2) 海老名の小田急ロマンスカー博物館へ行きました。

## 目標

2 週目最終日に、1 週目よりいいプレゼンをする⇒**50%**

社員の方々と喋る機会を自ら作る⇒**30%**

相手の話したいことを引き出す ⇒**60%**

1 週目に立てていた目標は、「会社では大きな声で挨拶をする」など社会人として当たり前のことばかりでした。インターンシップをさらに充実した内容にするために、2 週目からは1 週目の反省を活かして目標を再設定しました。社員の方に自ら話しかけに行くという目標は、人事部の方以外はなかなか接する機会を作ることができず、達成することができませんでした。もう一步踏み込む努力を今後はしていきたいと思います。

## 変化

仕事に対する価値観が変わりました。仕事は、ただ言われたことをこなすのではなく、「相手が望んでいることは何なのか」を知り、それを叶えてあげることです。そして、時に依頼者本人もどうしたらいいのかわからないことがあります。そうなったとき、対話を通じて解決策を一緒に見つけてあげる必要があります。インターンを通して、「仕事は対話の延長線」だと学びました。

## 総評

普段、電車の中で隣に座るくらいしか関わりがなかった社会人の方々と出会うことができ、自分の中で「働く」ことのイメージが大きく変わるきっかけとなりました。就活が本格的に始まる前にこの経験ができたことで、自分の軸を見直すことができ、また他の大学の意欲の高い学生に触れたことで、自分の将来に対してより真剣に考えるようになりました。毎日違う部署を見せて頂いたおかげで、会社がどのように動いているのかを詳しく知ることができ、その中でいかに自分が貢献できるかという考え方を今後は意識していきたいと思います。

## フィードバック

はきはきと明るく、他校の学生の中でもムードメーカー的な存在で、職場でも重宝される存在感を発揮していました。たくさん質問して下さるなど、何事にも前向きに取り組む姿勢が素晴らしく、特にプレゼンテーションなど、周りを惹きつけ、自分の意見を伝える能力に秀でていると思います。

これから社会人になって、どんな仕事を任されても、きちんと取り組めるはずなので、自信を持って頑張ってください！

## 謝辞

2週間という長い間、毎日新しい経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。どの部署も大変興味深かったですが、特に、5日目の情報システム部で伺った「自分たちができる技術を全て出すのではなく、相手がして欲しいこと以外はシンプルな方が良い」というお話は、それまでの私の中にあつた仕事に対する取り組み方や考え方とは違う視点を気づかせてくださったので、今でも記憶に強く残っています。就活が本格的に始まる前に「働く」ということについて、普段と違う環境で考える機会を頂き、感謝いたします。今後どうぞ宜しくお願い致します。

# 評価研での2週間

小高 桃子



## 自己紹介

小高桃子 MOMOKO ODAKA  
経済学部 会計ファイナンス学科 3年  
SPF 運営委員会

## 企業紹介

### 株式会社 企業評価総合研究所 (株)日本 M&A センター)

郵便番号 住所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 24 階
業界	M&A 仲介
企業理念	株式会社企業評価総合研究所は、公正な M&A 取引価格を算定・提示することで、中堅・中小企業 M&A マーケットの健全な成長に寄与します。
事業内容	中堅・中小企業 M&A における企業評価 (株式価値算定 / 事業分析) 事例に基づく中小企業 M&A 取引事例法の確立と指標提言
会社規模	資本金 : 10,000,000 円 従業員数 : 36 名 (2019 年 6 月 1 日現在)

## 日程

9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
台風のため休み	オリエンテーション 座学	座学 データ起こし(Excel)	座学 データ起こし(Excel)	座学 データ起こし(Excel)
9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
祝日	簡易評価表のチェックとフィードバック 概要書の研修課題(PPT) 競合企業の事業概要 リサーチ(Excel)	競合企業の事業概要 リサーチ(Excel) 座学	概要書の研修課題(PPT)のフィードバック 株式価値算定書の作成(PPT) 働きやすい会社リサーチ(Excel)	株式価値算定書の作成(PPT)のフィードバック 働きやすい会社リサーチ(Excel)の発表 2週間のまとめ

データ起こし：譲渡希望企業の紙上の企業情報をデータ化する業務

簡易評価表：企業の買収価格の概算

概要書：買収希望企業に向けた譲渡希望企業の紹介資料

株式価値算定書：簡易評価表よりも詳細な買収価格の算定

## 目標

1. 気づいたことや思ったことはすべてメモする…50%(達成度)
2. 自分の答えを持ってから質問する…50%
3. 「ありがとう」を1日1回もらう…20%
4. 管理職の方3人と話す…100%
5. 挨拶は大きな声で元気よくする…70%
6. 日誌をつけ、以上の項目の達成度を毎日チェックする…100%

日誌をつけることで毎日の振り返りと次の日の目標を定めることができ、モチベーションの向上にもつながりました。一方で、教えていただく立場では業務中に「ありがとう」をもらうことは難しかったです。

## 変化

2週間のインターンシップを通して、反省点や新たな気づきを得ることができました。例えば、競合企業の事業概要リサーチと働きやすい会社リサーチを任されたときに、集めた情報を、簡潔に、しかし、他人が見て理解できる内容で分かりやすくまとめることにとっても苦戦しました。その種のスキルが足りないことを痛感し、インターンシップ後には何かを調べたときに、自分なりにまとめることを意識的に行うようになりました。

決められた時間で働いたことでの気づきもありました。1つ目は、自分のタイムマネジメントの未熟さです。これは社会人になる前に向上させなければいけないスキルであるとわかりました。2つ目は、日々の単調さです。これまでの学生生活以上にルーティーンが固定化されているため、日々の経過がとても速く感じました。自分自身を成長させるためには目的意識を持ち、次の日により良い行動ができるように日々考え続ける必要があることがわかりました。

## 総評

学生の中にインターンシップ本来の意味である就業体験に参加できたことはとても良い経験になったと思います。その経験の中でも特に印象に残っているのは、ある社員の方の「仕事を楽しむ努力をしている」という言葉です。仕事は楽しいですかという質問に対して前述の返答をいただきました。当初より印象的な言葉として記憶していたのですが、2週間のインターンシップを通して、仕事を楽しむ努力の必要性和重要性に納得し、私にとってより印象的な言葉になりました。

## フィードバック

担当頂いた業務は、決算書や従業員データなど見慣れない資料の作成でしたが、入りに誤りが少なく、雛形にも順応し正確に資料を作成できておりました。同業他社の業務を調べて作成する資料は、箇条書きが中心で、資料をまとめた意味や意義が読み手にわかりにくい部分もありました。情報は網羅的に記載出来ていたもので、調べた膨大な資料をまとめるスキルを身に付ければ更によくなると思います。

## 謝辞

ご多忙の中、2週間のインターンシップを受け入れてくださった企業評価総合研究所の皆様には心より感謝しております。中期のインターンシップは初めてでしたので、とても緊張していましたが、暖かく迎え入れてくださりありがとうございました。このインターンシップでの経験を糧に、今後の就職活動や社会人生活も頑張りたいと思います。2週間、大変お世話になりました。

# 外部講師による授業

# 経営・人事コンサルタント 船川治郎氏

日時：2019年5月22日、29日、6月5日

報告：上村眞弥、木村萌

## ◇講義内容

- ・ビジネスマナー（良い第一印象の作り方、立ち居振舞い、言葉遣い）

船川氏の講義では、明るく・はきはきとした挨拶と目標を立てて実行することの大切さを学びました。自分の感情を120%表に出して挨拶をするとおっしやっていましたが、初めは恥ずかしくて大きな声を出す人はいませんでした。しかし、練習を重ねるうちに笑顔が増えて、いつもよりも感情を出せるようになり、教室の雰囲気は明るくなりました。実践による効果を実感できました。

- ・夢、目標設定（インターンシップに向けて、学びのサイクル）

自分の将来の夢を設定し、その夢に近づくための具体的な目標を1週間ごとに決めて実行していくことで、なりたい自分になれると教えていただきました。実際に、1週間ごとに目標を立てて過ごすとは、1日が長く感じました。普段、意識していなかったことに注意を向けると無駄な時間が多いことに気づき、時間の使い方を考えるようになりました。



## ◇講義を受けた感想

感情を前向きに出すということは、静かに聴くだけの座学型講義とは異なるため、最初は戸惑いが隠せませんでした。ただ、実際にインターンシップに行ってみるとご指導授業のおかげもあり、明るさや表情を褒められることが増えました。挨拶や自己紹介、感情を上手く出すことの重要性を感じました。また、諦めかけていた「なりたい自分」に近づく目標立てをするきっかけとなりました。今も実現に向けて努力しており、講義内容が活かされていると感じます。

講義後もメールでフィードバックをくださり、感謝しかありません。ご多忙のところ、3週間にわたり、ありがとうございました。習ったことを忘れず、今後の就活や自分が立てた目標実現に向けて活かしていきます。

## 経済学部 OB

伊藤祐治さん 小田開人さん 谷澤政俊さん

日時：2019年6月12日

報告：三笠彩音、小高桃子

### ◇OBの皆さん

- ・伊藤祐治さん 業種：損害保険会社
- ・小田開人さん 業種：旅行会社
- ・谷澤政俊さん 業種：印刷会社



### ◇講義内容

OBの皆さんに来ていただき、小グループに分かれて仕事のやりがいや学生と社会人の違いなどについて質問させていただきました。年齢的にも私たちに近い方に来ていただけだったので、自分たちが考えるべき社会人の姿を思い描くことができました。

### ◇講義を受けた感想

お話の中で印象に残っているのは、学生と社会人の違いについてお聞きした際に、皆さんが口をそろえて「生産性」「利益志向」に言及されていたことです。働き方改革によって、より一層時間当たりの生産性が求められるようになってきていることを学びました。そして、それを達成するために自分から広くアンテナを張る努力をされている姿勢に、社会人になってから必要とされる主体性を見ることができました。さらに、そのような努力過程は結果が伴わなければ社会では評価されないという厳しさを、学生と社会人の違いとして知ることができました。

また、谷澤さんは会社だけに囚われることなく、自分が興味を持っている社会的な活動に献身的に取り組んでおられました。仕事だけにやりがいを求めずに自分のやりたいことをやる姿は、「社会人＝つらい」というイメージとはまた別のものでした。

私たちは、社会人に対してある種の固定観念を持っていたことを、皆さんとの対話を通して気づくことができました。全体を通して、社会人として自分自身がどうしたいかを考える必要性があることがわかりました。

# キャリアセンター 藤澤瞬氏 江原つむぎ氏

日時：2019年6月19日  
報告：國井大樹、小宮暢朗

## ◇講義内容

- ・就活スケジュール
- ・就活に関するうわさの真偽
- ・キャリアセンターの利用方法

キャリアセンターの藤澤氏と江原氏には、経団連発表の就職活動に関するルール廃止を皮切りに、藤澤氏、江原氏自身の経験を話を含めながら、就活のスケジュールや噂の真偽など幅広く話していただきました。

特にルール廃止に関しては、そのままルールが適用される3年生といまだルール廃止の影響が不明な2年生が混在したクラスのため、全員にとってタイムリーな話題でとても勉強になりました。こちらからの質問も丁寧に回答してくださり、キャリアセンターの利用の仕方など学内での就活の支援体制も紹介していただきました。



## ◇講義を受けた感想

今回、実際に現在も立教生をサポートされているお二方でしたので、私たちの素朴な疑問・率直な意見などにも真摯にお答え頂きました。それ以外にも、就活のルールや常識など基本的なことをおさらいしてくれるだけでなく、就活の現場にいらっしゃる方からこそ分かるポイントまでもご教授頂きました。

また、本学卒業生ならではの社会人経験と立教生としての就活経験もお話して頂きました。藤澤氏は、具体的に藤澤氏流のエントリーシートの書き方を当時書いた内容を参考にしながら教えてくださいました。私たちの書く内容が如何に稚拙で自己分析できていないかを思い知らされました。そして藤澤氏の就職活動を当時の具体的な日程、結果などを交えてお話し頂きました。当時のリアルな心境変化、面接の実態などこれからの就職活動をリアルに想像することが出来ました。

江原氏は、一度転職された経験をお持ちで貴重なお話を聞かせて頂きました。これからの時代、転職はこれまで以上に当たり前の事となる中、実際に転職されたお話を伺うことは、これからの私達の将来設計にとっても役立ちました。以上お二方のお話のおかげで、就活の実態をよりリアルで鮮明な形で捉えることが出来ました。

この授業を通じてさまざまな先輩・先人の経験や知識だけでなく、私たちの身近なところにはこんなにも支えてくれて頼りになる存在がいるのだと実感でき、これから就活本番を迎える私たちにとって大きすぎる収穫でした。

お忙しい中、私たちのためにお時間を割いて頂きありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願ひします。

# 先輩受講生に聞くインターンシップの体験

## 常喜智子さん

日時：2019年6月26日  
報告：小堀優香、森玲奈

### ◇講義内容

- ・立教大学4年生
- ・インターンシップ前に聞くインターンシップ体験
- ・就職活動のアドバイス

インターンシップを経験する前に、どんな目的を持って参加するのか、どんなことに注意して2週間を過ごすのかを聞くことができました。常喜さんが「インターンシップを経験したあとにキーワードが見つかり、やりたいことが具現化される、そして自分で選別していく」というわかりやすいステップを教えてくださいました。また、インターンシップに緊張していた心が軽くなったのを覚えています。また、インターンシップに関わるだけでなく、就活全体についてもご教授くださり、いかに行動を起こすことが大事であるのかを知ることができました。お話の中で印象に残った言葉は、「偽りの自分で臨まない」です。どんなに自己分析や業界を調べたとしても、それをしっかり伝えることができなければ無意味になってしまうということが、目の前のことで精一杯だった私達に、深く突き刺さりました。



### ◇感想

3年生になり就活を意識している今、始めるべきことや自己分析のやり方など、わからず不安でした。しかし、常喜さんが実際にされた経験やアドバイスを詳しく伝えてくださったため、就活のイメージを少し掴むことができました。同時に、あんなに堂々としているのに常喜さんでさえ壁にぶつかった時期があったことを知り、就活の厳しさも再認識しました。よくわからないまま動いていなかった私達は、真剣に自分の将来と向き合うべきだと危機感を持つことができました。また、就活は内定を取るのではなく、“人生のゴールを成し遂げるため”だというお話が印象に残っています。その言葉を忘れずに就活も頑張っていきたいと思います。本当に貴重なお話ありがとうございました。

# パーソルキャリア株式会社 佐藤 裕氏

日時:2019年11月20日  
報告:山田瑞葵、海瀬麻由

## ◇講義内容

・インターンシップの経験を経験だけに終わらせず、今後活かしていけるような現代を生き抜くアドバイス

「日本の中で最も大学生にあっている社会人だ」を自負する佐藤氏が、受講生に向けたメッセージは大きく5つです。「人生の分岐点を勉強する事」「リアルな日本市場を知る事」「未来志向を持つ事」「自分の価値を見つける事」「2 ランク上の世界で勝負する事」。このなかで最も重要なことが、未来志向を持つ事でした。産業構造の大変革、労働人口の激減など、私達の想像以上のスピードで社会は変化しています。その時代を自分なりの生き抜く力で戦えるよう、沢山の刺激と学びを得、行動し、振り返り、言語化・可視化することが大切だということを教えていただきました。



## ◇講義を受けた感想

「私たちは過去の固定観念に洗脳されている、大切なのは未来志向である」というお話が鮮烈に印象に残っています。今、当たり前であると思っていることを取っ払って現在の社会を正確に捉えて、未来を考えることにトライし続けたいです。

「自分の価値は何か」という佐藤氏の問いに対して、いまだにうまく言葉にはできていませんが、今までの経験から感じたものをアウトプットする行為はとても大切なことであると気づきました。また、佐藤氏の仕事に対する情熱を講義のなかで垣間見ることができ、仕事に対して情熱をもち常に楽しさを生み出せる人はカッコよく、いずれ自分もそうになりたい、と思いました。

佐藤氏から頂いた行動・実践のためのエッセンスを基にして、前に一步踏み出すことができました。本当にありがとうございました。

# 総括



## 1年を通して

・今回、私はこの授業をインターンに行けるからという単純な理由で受講しました。しかし、この授業はただインターンに行けるという魅力だけでなく、少人数のゼミのような環境で自由なアクティブラーニングが行え、普段では会う機会のない外部講師の方から直接お話を聞けるといった魅力もありました。これらの点においてこの授業は授業らしさがなく、本当に自分の為になる意味のある「授業」だと感じました。

・簡単に長期インターンに参加できるという考えで受講しました。もちろん長期インターンに参加でき、その中で大きな学びを得られることができました。しかし、それだけでなく、実習後の充実したフィードバックや、各々の経験したことのプレゼンテーションを聞くことで、他から学ぶこともあり、様々な視点の考えも得ることができました。自分の考えを広げることができる講座だと感じています。

・この授業ではインターンシップに行くだけではなく、事前指導や事後指導もしてくれるので、2週間のインターンシップを有意義な時間にすることができました。また、社会に出ることに対しての考えの甘さが分かる機会ともなり、将来について考えさせられることもあり、人生の目標やその為にするべきことを明確にし、行動できるようになったので受講してよかったです。

・この授業を表すと、「普段の一方通行の授業ではなく、話を聞いたうえで自分と向き合いグループで共有し、先生や講師からフィードバックをもらえる」ことです。2週間のインターンシップはもちろん社会に触れる絶好の機会ですが、この授業の魅力はその前後の授業にあると深く感じました。大学であるべき授業の姿ではないのかと感じ、履修すると決めて良かったです。

・履修する前はまともに人前で自分の意見を話すことやプレゼンテーションなどを行う機会や勇気もありませんでした。しかし、先生方や外部講師、OBOGの方々からの指導を受けながら、この授業で出会った皆さんと切磋琢磨する中で自分の中の苦手意識なども克服でき、その成長を2週間のインターンでも実感できました。この1年を通して成長したと思える点は多くあり、履修してよかったと思っています。

・受講前は夏の2週間のインターンシップをメインに考えていましたが、それだけではなく、毎回の授業で先生方や外部講師の方から多くの学びを得ることができ、期待以上のものをこの授業で経験することができました。特に年齢の近いOBOGの皆様との対談と2週間のインターンシップ経験は、近い将来の自分のイメージを持つきっかけになりました。

・インターンシップに行くことができるだけでなく、毎回の講義も非常に学びのある内容で、何となく避けてしまいがちな自分の将来と向き合うきっかけになりました。また、この授業で吸収できる多くの学びを自分の成長に繋げるためには、すぐに実践することが必要で、ここでの学びを実のあるものにできるかは自分次第だということも感じました。

・学年が上がり、就活に対する不安からこのインターンシップの講義を受講しましたが、事前指導や外部の方の話を聞き、これからのキャリア、自分に合った将来の仕事と生活のバランスなど考えさせられる内容でした。少人数制のグループワークなどで自分の意見を持って発言するという機会があまりなかったのもそれもいい経験になり、この1年の講義は得るものが多かったです。



## 後輩たちへのアドバイス

・ハードルの高い授業だと思って敬遠するのは、もったいないです。やってみようと1歩踏み出すだけで、2週間のインターンシップに行くことができるのは、学外の就活サイトではあり得ません。また、就活とは切り離されているものなので、インターンシップ本来の意味での就業体験ができるという魅力があります。ぜひ受講してみてください。

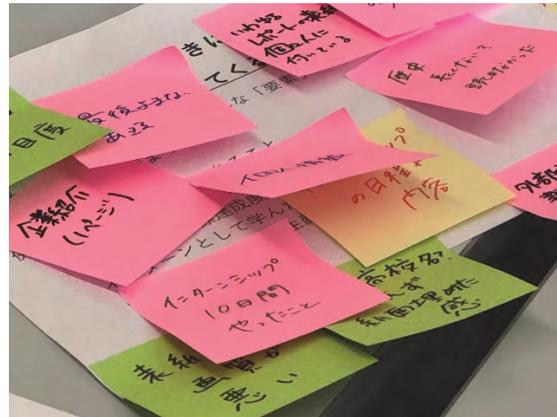
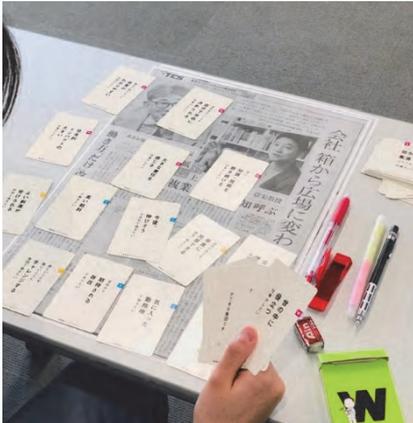
・この授業の魅力は2週間のインターンシップに行けるだけでなく、外部の様々な講師からお話を聞けることです。すべてのことに納得する必要もなく、逆に疑問を感じた点は「なぜそう思うのか」と自分を見直すきっかけになります。1年を通して有意義な時間を過ごせますので、ぜひ受講を検討していただきたいです。



## まとめ

わたしたちは、インターンシップ期間だけでなく、前後の授業でも学びや成長を得ることができました。受講を検討している学生にはこの点も魅力と捉えてくだされば幸いです。

そして、毎回の授業を有意義なものに導いてくださった外部講師の皆様、そして遠山先生と翁先生には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## あとがき

立教大学経済学部 翁 理香

立教大学経済学部が開講している「インターンシップ」の授業目的は、就業体験を通じて企業活動の現場を体感し、大学での「学び」の意義を再確認するとともに、これからの自分自身のキャリアや生き方について考えていくことができるようになることです。

1年間を通して、仕事の本質、社会で働く意義、自分自身の働き方・生き方について、学生自らが主体的に多角的かつ深く追求することを重視して授業運営してきました。

実習前の準備期には、仕事の本質や求められている仕事力とは何を指すのかについて学生主体で議論し、「なぜ」に対する解を追求し、外部講師の方々からは、リアルな仕事現場でのエピソードを通して、働くことを通じて得られるやりがい、自分に良いチャンスと呼び込むために必要なビジネスマナーなどについて演習を交えながら丁寧にご指導いただきました。学生たちは、出される課題や演習に対し、戸惑うこともありながらも、目的意識をもって取り組み、本番に備えました。

さて、実習先では、多くの学生は想像を超えるチャレンジングな課題に直面することとなり、多くは、実習1週目には思うような成果が出せず、苦戦したようです。しかし、現状のまま2週目を迎えるのではなく、目標の軌道修正を行い、「直面している課題に挑むことが、自己成長の絶好の機会である」と受け止め、全員が10日間の実習を終えることが出来ました。これは、学生自身にとって大きな収穫であり、成長を実感できたのではないかと考えています。

本報告書の中で学生たちは、「頭で理解していることは、現場では通用しない。経験することが重要だ」、「仕事は自分一人だけで完結するものではなく、組織内外の人と協働し、相手の立場に立って仮説を立て、行動することが必要だ」と語っており、社会（企業）という実践の場で体験しなければ得られない果実を得たことがわかります。

本報告書には、これからインターンシップに挑もうと考えている学生にとっても有益な読み物になっていると思います。また、本学の教育活動にご関心・ご興味のある方にも、この機会にぜひ手に取っていただければ幸いです。

次年度以降も、ひとりでも多くの学生が働く本質を追求し、一步踏み出して社会と接点をもって成長できるように、寄り添いながらも背中を押し続けたいと考えています。

最後になりましたが、日頃より多大なるご支援・ご協力を賜っております、立教経済人クラブ、学生を温かく迎え入れ、根気強くご指導いただいた企業の皆様、外部講師の皆様にあらためて深く感謝申し上げます。



2019年度 立教大学 経済学部 インターンシップ報告書

---

2020年 2月10日発行

編集 立教大学 経済学部

〒171-8501

東京都豊島区西池袋3-34-1

---

